

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストデイセンター鹿ノ台 基準該当児童発達支援 えるく			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日		～	2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境が良い	施設が住宅地の中にあり、周辺には公園もたくさんあり、ほどよい坂道もあるので、散歩に行くことで、自然に歩く力や体幹がよくなる	その日の天候や年齢に応じて、歩くルートや公園を決め、バリエーションを付けている
2	高齢者デイサービスが併設されている	高齢者の方やその職員にあいさつをしたり、歌を歌いに行ったり、時には一緒に行事に参加して交流する事で、お互いにより刺激となっている	コロナ以降は交流が持ちにくくなっているので、出来る範囲で今後、交流をもちたい
3	アプリを活用し、連絡している。	月の活動の予定や献立を知らせたり、日々の活動の様子を写真を添えることでわかりやすく伝えている	活動の内容を簡潔にわかりやすく伝えられるように、子ども達の様子も観察している 降園後なるべく早く公開できるようにしている

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信	法人のホームページやインスタグラムは開設されているが、日々の業務に追われ更新できない	月一回程度、日にちを決めて、活動の内容や、取り組んでいる事等発信出来たらと思う
2	災害時の発声に備えた避難訓練	簡単な訓練で、平行児童は園でも行っているのに避難訓練はプログラムに入っていない	プログラムの中で災害について考える機会を作り、平行児童も避難経路を確認できるようにする
3	情報共有	常勤と非常勤の職員がいるため、児童の情報の共有ができていない時がある。	どうすれば抜けなく共有できるかを、考え、今実践している方法を模索しているところ